

## 単元名 文字の組み立て方(三つの部分)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 組み立て方に気を付けて、字形を整えて書くことができる。  
 (2) 用紙の大きさに合わせて、読みやすい文字の大きさや余白の取り方を考えて書くことができる。  
 (3) 三つの部分の組み立て方に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

## 標準的な展開例

06020104\_001

【教材名】『湖』（毛筆）/硬筆の学習 文字の組み立て方（左右・上下・中と外）/レッツ・トライ 国語のノート/レッツ・トライ 校外学習のリーフレット (P.12～P.17)

【準備等】書道半紙，ワークシート（硬筆練習用），修学旅行や社会見学時のメモ，リーフレット作成用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 三つの部分の組み立て方に気を付けて、『湖』を書く          ★三つの部分の組み立て方に気を付けて書こう          ○『湖』を試し書きする。          ○教科書の文字と試し書きとを比較して、気付いたことを話し合う。</p> <p>○三つの部分の組み立て方を理解する。</p> <p>○『湖』を練習する。</p> <p>○『湖』をまとめ書きして、自己評価・相互評価をする。</p> <p>3 左右，上下，中と外の組み立てに気を付けて，硬筆で書く。          ★左右，上下，中と外の組み立て方に気を付けて，硬筆で書こう          ○硬筆で『衛』『測』『術』『葉』『案』『属』『関』『医』『団』を試し書きする。          ○左右，上下，中と外の組み立て方から成る文字について気付いたことを話し合う。</p> <p>○教科書P.14の漢字を練習する。          ○まとめ書きをして，自己評価・相互評価をする。</p> <p>4 分かりやすく，内容が理解しやすいノートのまとめ方を理解する。          ★学習内容が理解しやすいノートのまとめ方を知ろう          ○内容が理解しやすいノートとはどのようなものか，話し合う。</p> <p>○ノート例を書いて，自己評価・相互評価をする。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>・教科書は見ないで書かせる。          ・隣席同士で話し合いをさせる。          ・特に，三つの部分の幅はどうなっているかに着目させる。          ・教科書P.12の文字に，中心線を引かせる。          ・三つの部分を直線で囲ませることで，それぞれの大きさに気付かせる。          ・それぞれの部分が細長く変形されて配置されていることを押さえる。          ・一度，三つの部分を同じ大きさを書かせることで，まとまりの悪さに気付かせる。          ・半紙を十文字に折り，『古』の部分を中央に書くように助言する。          ・隣席同士で，互いのよい点を見付け合えるようにする。          【評】作品を通して，三つの部分の組み立てに対する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書は見ないで書かせる。          ・漢字のテストのような形式にしてもよい。          ・教科書P.14にある文字のそれぞれの部分を四角で囲ませるなどして，組み立て方の工夫に気付かせる。          ・一文字にまとめるための組み立て方の工夫について気付いたことを，ワークシートに書き込ませる。          ①三つの部分から成る文字は，中心部分を細く小さめに書く。          ②中の部分の横画を長めに書く。          ③「構え」を引き締め，中の部分を小さめに書く。          ・ワークシートを用意し，書き込ませる。          ・教科書P.14の漢字をまとめ書きさせる。          ・左右・上下・中と外の組み立て方に着目して評価をさせる。          ・隣席同士で，互いのよい点を見付けるようにする。          【評】作品を通して，組み立て方に関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書を見ずに話し合った後に，教科書P.15を参考にして理解を深められるようにする。</p> <p>①日付を書く。          ②めあてを書いて，線で囲む。          ③大事な項目などは，線で囲む。          ④関連のあるものは，矢印等でつなぐ。          ⑤大事な語句などは，色を変えるなどして目立つようにする。          ・教科書P.15のノート例を，罫線の入ったワークシートで練習させる。          ・書き終わったら，隣席同士で教科書と照らし合わせながらよい点を見付けさせる。          ・よりよいノートの取り方について，分かった</p>

- 5 用紙全体の大きさから文字の大きさや余白の取り方を考えて、読みやすいリーフレットを書く。
- ★用紙全体の大きさを考えて、読みやすく書こう
- 読む人に内容が伝わりやすいリーフレットを書くための工夫について話し合う。

○鉛筆で下書きをする。

○リーフレットのまとめ書きをして、自己評価・相互評価をさせる。

ことをワークシートにまとめさせる。

【評】分かったことのまとめを通して、内容が理解しやすいノートの取り方についての「知識・技能」を評価する。

・教科書P.16～P.17を参考にして、分かりやすく効果的に伝えるために気を付けることを話し合わせる。

①記事の数と文字の大きさ

②余白の取り方

③見出しの大きさと色

④図や写真の配置

・修学旅行や社会見学時のメモを用意しておく

・用紙に対する文字の大きさや余白の取り方に留意させる。

・適切な文字量にするために、内容の整理が必要であることを助言する。

・下書きが終わったら、隣席同士でアドバイスをし合うようにする。

・見出しや小さい文字などは、筆記用具を工夫させる。

・隣席同士で相互評価をさせる。その際、特に用紙に対する文字の大きさや余白の取り方に着目させる。

【評】リーフレットのまとめ書きを通して、文字の大きさや余白の取り方についての「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】